

文・撮影 西郷公子

55歳からの挑戦者たち

おしゃれは遊び心を大切に

横浜市神奈川区

岩佐 俊一さん(65歳)

現在の肩書きは「183シニアファッション研究所所長」。子育て支援事業を手がけるトランタンネットワーク新聞社の「コミュニティ事業部」として今年一月発足した。シニアのおしゃれに関する調査研究、シニアファッションのアドバイザーのほか、同世代の仲間が集いおしゃれを楽しむこと、個々の知識や経験を地域社会に生かすことなどを目的に、会員制の「ハイカイクラブ」も運営している。



「まじめに仕事に打ち込んできた人ほどおしゃれを罪悪視する傾向がある。ほんの少し遊び心を持つだけで毎日が楽しくなる」と岩佐さん。取材の日、横浜高島屋に集まった会員は男女六人。上品なカジュアルブランドの店で、岩佐さんがアドバイザー。会員の男性は少々照れながらも、まんざらでもない様子だった。

若いころからアパレル事業一筋だった

岩佐さんだが、五十二歳のときに事業の拡大をもくろみ、挫折を経験。その後、知人の誘いで地域活動や企業支援活動の道へ。そこで多様な人と出会ううちに、

地域にいるシニアたちのおしゃれへの関心の低さに驚いた。いつのまにか何人もファッションコーディネーターを引き受けていたこともあって、今の事業を立ち上げることに。趣味はデパートやかつて修行していた銀座をウロウロすること。クラブ名もそこから、シニアが外に出て楽しく過ごしてほしいとの願いを込めて付けた。

現在会員は五十人(うち男性三十人)。時事一般にわたるセミナーの開催、お花見や交流会も行う。「おしゃれのポイントは、一番に清潔感、二番目にシンプル、三番目がコーディネイト。決して高級品で着飾る必要はないが、余裕があれば上質なものを長く着たほうがずっと得」とアドバイザー。

Data

株式会社トランタンネットワーク新聞社
183シニアファッション研究所
横浜市神奈川区栄町17の4の1403
電話045(444)4183 <http://www.183mode.com>